

「多面的・多角的に考えること」

を重点とした道徳科の授業づくり

第2学年 道徳科学習指導案

- 1 主題名「自分を好きになる」(内容項目：A-4 個性の伸長)
- 2 教材名「どうしてうまくいかないのかな」(出典「どうとく2」光村図書)
- 3 主題設定の理由

低学年の児童にとって自分自身を客観視することは難しいことから、他者からの評価を通して、自分の長所など、特徴への気づきをより確かなものにするのが大切である。

これまで学習した、同内容項目の教材「おり紙名人—よしざわあきら」においては、児童の様子から、自分のよさに対して懐疑的な気持ちをもっている様子が見られた。

そのため、本教材において、他者との交流の場面を設定することにより、自分の長所を多面的・多角的に捉え、よさを伸ばしていこうとする態度を育てていきたい。

4 本時のねらい

友人との関わりを通して、自分のよさや特徴に気づき、それらを伸ばしていこうとする道徳的態度を育てる。

5 本授業のポイント

- ① ICTを活用することにより、自分のよさに対する気持ちの変容を捉えられるようにする。
- ② 互いのよさを伝え合う場面を設定することにより、自分のよさについて多面的・多角的に理解できるようにする。

6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の発言	留意点や評価の観点 等
導入	1 自分のことについて振り返る。 ○自分のことをいいな、好きだなと思いますか。 ・走るのが得意だから好き。 ・お母さんに褒められたことがあるから好き。	・Jamboard を活用して自分の考えを明確にさせ、児童から話を聞く。
展開	2 教材を読み、みきの変化を捉える。 ○みきさんは、どうして自分のことが前よりも好きになったのでしょうか。 3 友だちのよさを見つけ、伝え合う。 ○友だちのよいところを見つけましょう。 4 多面的・多角的に自己を見つめる。 ○自分のことをいいな、好きだなと思いますか。 ・友達からよいところを教えてもらって、好きになれた。	・Jamboard に記入したことをもとに、登場人物の気持ちの変化について考える。 ・Jamboard を活用して導入時の自分の考えと比較し、自分のよいところを多面的・多角的に捉える。
終末	5 教師の説話を聞く。 6 学習を振り返る。 ○今日の学習を通してどんな気持ちになりましたか。 ・自分のよいところを見付けることができて嬉しかった。	・学習したことを振り返り、今後につなげる。